

日本ヴェーダーンタ協会創立 50 周年記念関西地区講演会

インドの心・霊性・ヨーガ・文化に興味ある方は、だれでもご参集下さい。

日時：2010 年 1 月 24 日(日)午後 4 時～午後 6 時まで

場所：帝人ホール（大阪府中央区南本町 1-6-7）

地下鉄中央線・堺筋線 堺筋本町東出口（2 号出口）から専用通路あり

入場料無料 先着 300 名まではスワミ・ヴィヴェーカーナンダ大師の本を無料進呈

主賓：ヴィカース・スワラープ インド総領事閣下



スワラープ閣下は、2009 年度アカデミー賞受賞映画「スラムドッグ\$ミリオネア」の原作小説『ぼくと 1 ルピーの神様』の作者であります。

今年幸運にも大阪に赴任され、さまざまなメディアに登場しております。同じく受賞映画「おくりびと」の原作小説『納棺 夫日記』の作者青木新門氏とも対談されています。

講師：木村慧心（社）日本ヨーガ療法学会理事長

演題：「スワミ・ヴィヴェーカーナンダ大師と現代社会」

インド文化の普遍性を示すヨーガとヴェーダーンタ哲学の教えが世に広まって久しい。これら精神文化の伝播は 1893 年の大師の渡米がきっかけになっているのは周知の事実である。私たち日本ヨーガ療法学会では大師創設のラーマクリシュナ・ミッションの助けを借りて、ヨーガとヴェーダーンタ哲学の教えを基にヨーガ療法を日本国内で普及しているが、現代社会の諸問題を解く鍵が大師の教えの中に残されていることをお話したい。特に、弱肉強食の競争原理を超えるヴェーダーンタの教えを大師の言に求めてみたいと思う。昨年も「インドの若者は一度日本に行ってその社会を見るべし」という大師の言葉を携えて若き科学者がバンガロール市から私たちを尋ねてきた。大師の教えがインドと日本の間に留まらず、多くの人々の支えとなることを願っての講演としたい。

講師：溝上富夫 大阪外国語大学名誉教授、関西日印文化協会会長

演題：「ラーマクリシュナ・ミッションとベンガル・ルネッサンス」(仮題)

溝上名誉教授はヒンディー語のみならずパンジャーブ語、ベンガル語などの著作もあります。また下記の著作の通り広範なインド文化の紹介者でもあります。

主要著書・訳書：『実用パンジャーブ語会話集』、『文化紹介ベンガル語中級会話集』、『シク教一教義と歴史』、『ヒンドゥー教のお祭り』、『ヒンディー語で歌う日本のうた 101 選』

【日本ヴェーダーンタ協会出版のご案内】

ヨーガ実修者必読の書

『カルマ・ヨーガ』、『バクティ・ヨーガ』、『ギャーナ・ヨーガ』、『ラージャ・ヨーガ』、『秘められたインド』、『わが師』